



生き残るのは変化する者・・・

●新しい生活様式

食事は「持ち帰りや出前、デリバリーも」「屋外空間で気持ちよく」「大皿は避けて、料理は個々に」「対面でなく横並びで座ろう」「料理に集中、おしゃべりは控えて」「お酒、グラスやお猪口の回し飲みは避けて」、そして「多人数の会食は避けて」・・・【厚生労働省：「新しい生活様式」の実践例 より】

コロナウィルスはこれまでの私たちの生活様式を一変させようとしています。打ち上げや懇親会でも、皆でお酒を飲み料理を食べながら熱く議論をし話をして懇親を深めお互いの理解を深めてきました、いわゆるノミネーションは私たち日本人の文化の一つだったのかもしれませんが、それが無くなろうとしています。

上記の実践例を商売に当てはめてみると、今までの「居酒屋」という業態自体が完全に否定されてしまったのが判ります。ある日突然始まったコロナ騒動により、昨日まで私たちの日常であり文化の一つであったとも言える自分の仕事そのものが突如として否定されこの世から消滅する... それぞれ自分の業種や業態に置き換えて考えてみれば判る通りゾッとする恐ろしい現実です。

●突きつけられた“変化”

待ったなしに突き付けられ求められる「変化」にどう対応するのか？一瞬でも遅れれば倒産は必至です。ほとんどの業種で生き残りをかけた戦いが始まっています。当然のことながら助成金や融資は一時の延命措置にしか過ぎません。根本的な治療（変化）ができなければ死（倒産）を待つしかなくなります。

TEAM yoko-so のコーポレート・メッセージは「変わらないは、つまらない。」クレドの取説には「ダーウィンの“生き残るものは、強いものではない。賢いものでもない。唯一、変化するものである。”という言葉の通り、社会と時代の変化に対応し、能動的・主体的に自ら変化し、進歩と革新のチャンスを作り出せる社員・経営者を一人でも多く育てることにより日本の元気を創るのが私たちの使命です。私たちは変化を楽しみ、変化をリードし、変化（成長）し続けます」と書かれています。

私たちは、今まさに社会と時代の大きな変化のド真ん中に立っています。私たちの使命を肌で実感でき私たちも大きく変化できる千載一遇の時代の瞬間に立ち会っているのです。感謝しかありません。

●変化できる人、できない人

数千人の経営者とお付き合いをしてきた私の経験からも、能動的・主体的に変化できる組織とできない組織の間には決定的な一つの違いがあります。それは「変化しないもの」を持っているか否かです。

絶対に変化しないミッション（存在意義、使命）を持っているからこそ、激しい環境変化の中で絶対に変化しないモノを守り追求するために自らを変化させ成長させて行けるのです。理念という軸を持たない組織は、ただ環境変化に翻弄されて受動的・従属的に変化を強要されていくのです。自分の目指すべき方向が無いので、変化の激流に押し流されて泳ぐのではなく溺れていくのです。

変化するとは、変化から組織や利益を守るのが目的ではなく、組織の目指すものを目指し続けるために自らを変化させていくことを意味します。なぜなら組織の存在意義がそこにあるからです。

大きく変化をしなければならぬ時だからこそ、原点に戻り、もう一度「絶対に変化しない自社の目指すミッション（使命）、フィロソフィ（哲学）」を再確認してください。

『社長！御社が守り追い続ける、絶対に変化しない御社の「存在意義（理念）」とは何ですか？』

◆ withコロナ時代の働き方

新型コロナウイルス感染症拡大の中、企業を取りまく環境は日々変化し続けており、働き方改革における働き方の多様性や業務生産性の向上、ならびに事業継続対策として政府からもテレワーク率70%を目指すよう要請があるなど「テレワーク」の環境を整えることが一時的なものではなく、今後の企業活動には必要不可欠なものになっています。

● テレワークのメリット

「テレワーク」を簡単に説明すると、ICT（情報通信技術）を利用して、時間や場所にとらわれない柔軟な働き方のことです。「テレワーク」の導入によって、業務上あらゆる面でのメリットを期待されています。

- ・ 生産性の向上：場所や時間にとらわれずに働いて、通勤や移動時間の削減や会議時間の短縮に繋がります。
 - ・ コストの削減：出張にかかる旅費や交通費、オフィスの費用を削減しコストを削減することができます。
 - ・ 労働環境の改善：決まった時間に決まった場所で業務を行わなければならないという制約がなくなること
- で、働きやすくなり、働きがいの向上に繋がります。

● テレワークの導入課題

テレワークというこれまで日本ではあまり馴染みのない働き方を自社で導入し当たり前にしていくには、データ取り扱い方法や業務ルールやネットワーク設備構築やセキュリティの確保などハード面と職場の風土や個人の価値観といったソフト面での見直しの課題が大切です。

● withコロナの時代 yoko-soの取組



yoko-soは3年前から業務で使用するアプリケーションのクラウド化を進め、支給される専用ノートパソコンがインターネットにつながってさえいれば、どこにいても業務が可能な状況を備えていたため、テレワークが推進される中、4月中旬から社員の大半が、5月からは全従業員がテレワークを始めています。また、テレワーク環境下では従業員が孤立感を抱きやすいため、コミュニケーションツールの整備、セキュリティのリテラシー教育と適切なソリューションを提供することも大切です。業務内容によってテレワークに向き不向きはありますが、「無理」「うちには関係ない」と片付けてしまうのではなく、検討されてみてはいかがでしょうか？

★ 悩める感染症第6弾！

新型コロナウイルス感染拡大が止まりません。11日現在で世界での感染者が20,011,186名、死者は734,755名、日本でも再び感染が拡大し感染者47,990名、死者1,047名となっており、島嶼地域である沖縄本島、離島でも感染が拡大しています。

● 住民税負担が重い

2020年度の住民税額を記載した「税額通知書」が皆様のお手元にも届いていると思います。

新型コロナウイルスの影響で景気が悪化する中で住民税の負担感はいつになく重くなりそうです。収入が大幅に減る人が増える一方で、住民税は好況時の昨年度の所得が基準になるためです。

● 前年所得が基準

税額は前年所得が基となります。所得税は基本的にその年の収入に連動するため、納税に困るといったケースは起きにくいと言えます。しかし、住民税は前年所得を基に税額が計算されるため、現在の手取り収入との間にズレが生じやすく、新型コロナウイルス感染拡大の影響で切実なケースが増えると予想されます。

特に飲食店などの個人事業主の皆様は休業要請により休業を余儀なくされ、大幅に収入を減少した方が多いと思います。個人事業主は住民税を原則、6月、8月、10月、翌年の1月の4回に分けて納税しますが、目先の資金繰りでいっぱい、住民税を納める余裕のない可能性もあります。

このような場合は新型コロナウイルスに対応した住民税の徴収猶予制度を使うのがいいでしょう。

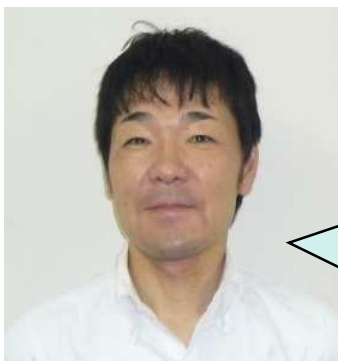
2月以降の任意の期間（1カ月以上）で、事業などの収入が前年同時期に比べおおむね20%以上減少した個人や企業などが対象となります。自治体に申請をして猶予が認められれば、原則1年間徴収が猶予されます。猶予をしても延滞税がかかることもありません。

今年は新型コロナウイルス感染拡大の影響で所得税の申告期限が1カ月延長され4月16日までとなりました。期限間際に申告をした場合や、まだ申告をしていない場合には今年度の住民税の税額通知書に所得税の申告が反映されていない場合もあります。本来の税額は後日通知されますので、それまでは注意をして家計の運営をして下さい。

● 収入が大きく変わる人は注意を

収入が大きく変わる人も注意が必要です。例えば、今年退職をする人です。退職金にかかる所得税と住民税は退職時に一括して退職金から徴収されるため、課税はこれだけだと錯覚しやすいのですが、徴収される金額は退職金に係る分になります。退職するまでの給与に対する住民税は退職の翌年に課税されます。リタイアをして収入が減った後の住民税には、より強い負担を感じるといいますので心しておく必要があります。

不動産を売却予定の人も似た構図になりやすいでしょう。高齢者の中には老人ホームに入居するための資金を確保するために自宅売却を検討する人もいます。自宅を売却した場合、その利益（譲渡所得）から最高3,000万円が控除できる特例がありますが、譲渡所得が控除額を上回った場合には、翌年の住民税が増える要因となります。確定申告で所得税納税して安心せずに、住民税まで注意する必要があります。



（株）横浜総合フィナンシャルの西尾です！

税負担の増加につながる所得税の改正が今年から始まっています。住民税に対する配偶者控除・配偶者特別控除も変わります。不安定な環境下ですので、いつも以上に先を見据えた家計の運営が必要ではないでしょうか。

今月の yoko-so



TEAM
yoko-so
変わらないは、つまらない。

DXプロジェクト 立ち上げました!!

異業種からの参入

市場環境の流動性

顧客嗜好の多様化

不確実性の増大

ビジネスのスピードを圧倒的に上げるしか
対処する術はない

意思決定サイクル
の短縮

現場への
大幅な権限委譲

流水化された
ビジネス・プロセス

現場や顧客の「見える化」

自律的なチームによる
運営と管理

バリューチェーンの
管理と把握
(ヒト、モノ、カネ、情報)

- 経営会議のサイクルを月次から日次へ
- 販売実績の報告を日次からリアルタイムへ
- 労働時間の把握を月次からリアルタイムへ

デジタル・テクノロジーを駆使
ビジネス・スピードを加速する

デジタル・トランスフォーメーション

中小企業DX推進研究会と
共同で書籍を発売します



8月に入り、一気に暑くなってきました。今年はwithコロナの夏です。今までにない世の中に向かっていく中で、TEAMyoko-soとしてもコロナにより制限をかけてきたことに向かって再挑戦していきます。これからのTEAMyoko-soは、DX（デジタルトランスフォーメーション）を推し進めていきます。DXとは、デジタル技術を浸透させることで人々の生活をより良いものへと変革することを指します。私たちTEAMyoko-soはDXを推し進めることで、「変わらないは、つまらない」を体現し続けていきます。「コロナだから、できない」とネガティブに考えるのではなく、「コロナだから、チャンス」とポジティブに変化を楽しめる組織をつくり、変化をリードし続けます！そのためには、まず私たちTEAMyoko-soの一人一人が発信源となり、お客様や大切な人、社会をより良くしていけるよう、「捉え方」をポジティブにしていきます。コロナのような異常事態を経験し、改めて、クレドによって組織が一つの方向を向いていることの強さを実感した夏となりました。

次号予告・編集後記

今年も暑い夏がやってきました。
今月で税理士試験も終わり、一息つけそうです。

TEAMyoko-soも絶好調で暑い夏を過ごしており、来月から新たに3人の仲間が増えます！「お客様のビジョン実現のサポート」を共に目指せる仲間が増えることに、いまからワクワクが止まりません。それでは、来月もお楽しみに。



今月の一言…“良薬は口に苦し”

「 仕事には三種類あると思うんです。生活の糧を得るための仕事、
自己実現を図るための仕事、そして社会貢献としての仕事です 」

(一風堂創業者 : 河原成美)

学生なら自己実現のために努力すれば善し、でも社会人になったら社会の課題を解決し
社会に貢献する仕事をみつけろ。人生は何を得るかではなく何を残せるかに意味がある。

★本や講演やお客様のお話の中から、「これは自分の生き方に取り入れよう」と感じた
ことをノートに書きとめています。そのノートの中から一言… (v o l . 1 4 8)

★ 新型コロナウイルスの感染が全国的に感染拡大しています。特に島嶼地域である沖縄本島、離島共に感染が急速に拡大しています。私は学生時代に石垣島でスキューバダイビングのインストラクターとして過ごしました。3月にはマスクと消毒液を寄付しましたが今は何ができるのか悩ましい状況です。既に隔離病室は埋まってしまい、一般病室を使っているとのこと。観光が経済活動の中心である島嶼地域の苦しみが痛いほど分かります。心が張り裂けそうです。(NISHIO)

★ コロナ禍の中、関与させて頂いているお客様のうち、8割は売上減少の影響を受けていますが、20%程度のお客様は売上を伸ばしています。売上が減少している企業でも6割は、経費の見直しや業務の改善により利益水準を維持しています。この状況下においても、正しい経営をする企業は決して業績を落とさないような取り組みを実施しています。先の見えない不確実な時代、経営計画でミライを見る経営は生き残りの必須条件になるのではないのでしょうか。【ミライ】とは今の決断・選択の結果です。(TOCHIKURA)

★ タイガーバームが最近のマイブームです。通っているヨガ教室のインストラクターから「タイガーバームで足裏マッサージするとたまらない」と聞き、半信半疑で試したのですが、これが効き目抜群なのです！足裏からふくらはぎまで、ツボを押し、リンパを流すようにマッサージしています。初めは部屋中に広がるメントールの匂いに顔をしかめていた旦那もいつのまにか虜に。不安定な環境だからこそ、しっかりとセルフケアして、少しでも心身健康に保つように心がけています。皆さんもぜひお試しください。(YAMAMOTO)

★ 7月は日本で唯一「冒険」をテーマにツアーを主催している冒険家・登山家の新谷暁生さんの主催する「知床エクスペディション」に参加してきました。人が住まず道もなく自然濃い日本最大の土地、オホーツク海に突き出す厳しい自然環境の土地、そして世界一ヒグマの生息密度の高い土地でもある知床半島を約一週間かけてキャンプをしながらシーカヤックで一周します。スマホは通じずGPSもコンロも持たず、ラジオ短波で天気図を書き、地図だけで位置を把握し、どんな雨の中でも焚火で炊事をする。できる限り本来人間の持つ力だけで自然と対峙する。その定義の仕方が冒険とアウトドア遊びの違いなのだと思います。そして、



たかがバンジージャンプでさえ当たり前になっている「自己責任承諾書」を一切取り交わさない姿勢。「子供に自己責任を問う？自己責任とは十分な知識と技術と経験があって自分で判断できる人に生ずるもの。この冒険は俺だけがプロで参加者は素人だから全責任は俺がとる」「だからこのツアーは事業化も商売にもならない、俺が生涯一冒険家としてやり抜くだけ」... 73歳、「男」としての生きざまに胸が熱くなりました。(IZUMI)

TEAM yoko-so

税理士法人横浜総合事務所

株式会社横浜総合マネジメント／株式会社横浜総合フィナンシャル／株式会社横浜総合エクスペリエンス

< 横浜総合ASP推進センター / 横浜総合M&Aセンター >

セミナーのご案内

※関与先値引き有り

★ “将軍の日” 中期経営計画作成セミナー

自社の5年後のあるべき姿と、そのための経営課題を明確にするための一日！

日時：2020年9月15日(火)／10時～18時半

場所：横浜総合事務所セミナールーム

募集：3社限定 料金一社 55,000円

昼食代込（お二人迄参加可）

★ “未来創造塾” 毎月開催、経営者セミナー 《※※※年間会員募集中※※※》

第116回「メンタルヘルス対応の基本」

講師：株式会社 i・OH 研究所

代表取締役 福本 正勝

日時：2020年9月17日(木)／16時～17時半

場所：当講演はオンラインセミナーです

募集：都度参加会費 5,000円

ネットワーク

日本大通り法律事務所、小越司法書士・行政書士事務所、小俣不動産鑑定士事務所

(株)人財経営センター、(株)日本M&Aセンター、社会保険労務士法人エール

(株)事業パートナー、(株)FPG、(株)経営改善支援センター、一般社団法人フードアカウンティング協会

(株)パワーズアンリミテッド、NMC 税理士法人税務総合対策室、税理士法人東京クロスボーダーズ

(株)日本エスクロー信託、ベンチャー支援機構MINERVA(支援会員) 他

〒231-0023 横浜市中区山下町 209 帝蚕関内ビル 10F

TEAM 横浜総合事務所 / TEL045(641)2505、FAX045(641)2506

ホームページ <http://www.yoko-so.co.jp/>

「経営者へのメッセージ」「癒しの森暮らし」のブログにもつながります